

報道関係者各位

令和6年3月15日

第3回 舞鶴市部活動地域移行あり方検討会の開催 及び 部活動地域移行に関する実態調査の結果

舞鶴市では市立中学校の生徒及び保護者にとって望ましい部活動環境の構築と中学校教職員の働き方改革を実現するため、国の委託事業（実証事業）を受託し、休日の部活動の段階的な地域移行に向けた取組を進めております。

本年度は、部活動の地域移行に向けた課題等について、市民や有識者等から幅広く意見を聴くことを目的とした「舞鶴市部活動地域移行あり方検討会」を立ち上げ、第1回検討会を8月に、第2回検討会を12月に開催したところです。

このたび、第3回検討会を開催しますので、お知らせします。

また、部活動の地域移行に係る児童生徒や保護者、学校関係者、地域文化・スポーツ団体等関係者のニーズや意見を把握するため実施した実態調査の結果を取りまとめ、市ホームページで公表しておりますので、併せてお知らせします。

1、第3回舞鶴市部活動地域移行あり方検討会

(1) 日時 令和6年3月21日（木）午後3時から（2時間程度）

(2) 場所 舞鶴市役所 別館5階 中会議室

(3) 検討会の構成

地域スポーツ団体、地域文化芸術団体、学校、保護者、学識経験者など12名

(4) 当日の主な内容

- ・令和5年度の実施状況について
- ・国・京都府の動向等について
- ・令和6年度の実施計画（案）について
- ・意見交換

(5) 傍聴 可能（15名、人数に達した時点で締め切り）



2、部活動地域移行に関する実態調査の結果

(1) 調査の目的

本市の児童生徒（小学校5，6年生及び中学校1，2年生）及びその保護者、中学校教員の部活動や学校外での習いごとの実態や意識、学校部活動の地域移行に対する考え方等を把握するほか、市内で活動するスポーツ・文化団体や市内の高等学校に対して、休日の学校部活動を地域の活動である「地域クラブ活動」に移行した際の受入可否や課題等について調査を行い、地域移行の検討資料とするものです。

(2) 実施時期 令和5年11月～令和6年2月

(3) 調査方法 オンライン回答もしくは紙での配布

(4) 調査対象及び回答数

対象	対象数	回答数	回答率
市立小学5，6年生の児童	1,287人	1,073人	83.4%
市立中学1，2年生の生徒	1,260人	1,006人	79.8%
市立小学5，6年生の児童の保護者	1,287人	598人	46.5%
市立中学1，2年生の生徒の保護者	1,260人	512人	40.6%
市立中学校教員	173人	104人	60.1%
市内の高等学校	4校	4校	100%
市内で活動するスポーツ団体等	99団体	61団体	61.6%
市内で活動する文化団体等	95団体	52団体	54.7%

(5) 調査結果を掲載している市ホームページURL

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/cmsfiles/contents/0000011/11760/jitttaichosa.pdf>

